

合格体験記

氏名: [REDACTED]

担任講師: _____ 先生

在籍校舎: 西日暮里 _____ 校

進学先: 東京学芸大学 (B類・美術専攻)

その他合格校

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私は多分、人よりも大学進学を決めるのが遅い、たと思える。推せんは7月、一般は9月に受験すると決めた。元々、専門学校に進もうと考えていたのと、高校が総合学校という事があり、ほぼ全くと書いていいほど、勉強していった。そんな私が東京学芸大学に合格する事ができたのは、たくさん人のサポートと自身のやる気が大きいものだった。

推せん先生の受験方法は、面接とプレゼンと小論文だ。た。プレゼンは元々の能力もあって、たため、夏休みと方課後に1日1枚を目標に練習した。小論文は、学校が対策を行ってくれた。たため、ポラトアテセミナーにて、対策をしてもらった。個人的に一番心配であったが、先生と他共にリライトなどをしてくる事で、少しづつ自信が持てるようになった。先生からは私が書いた小論文1枚1枚、このように書いたら良くなるんじゃないかと自分が書いた小論文を渡してくれていた。とてもありがたかった。さらに、受験直前にすると、授業の振り替えの今を小論文対策にあててくれたのだ。そのおかげで推せん入試では、納得いく小論文が書くことができた。小論文は2日1枚でやり、こおり、受験直前は、1日2枚で練習していった。面接は、授業終わりに個別に対策してくれた。きんちゅうした時の対応の仕方や、話し方等、細かい部分まで指導して下さった。面接は、登下校の際にポロポロ言っていたが、練習していった。これら先生の努力が実の。たのが、推せん合格することができた。

しかし、やはり辛い事も経験するものが大学受験

であつた。一般を受験する事を考えて、勉強し
 なければいけなかつた。たまため、推せん勉強と
 一般の勉強の両方が幸が、たゞ全ての時間を
 勉強に使つた。時には寝がに学校へ行く事も
 あつた。幸い時ほど押さへ込むべきだと母が
 教えられた。たまため、やめると言う考えは頭
 にあつた。たゞし、かまわれないでいたの
 が、毎日涙を流しなかつた。そして、そ
 んな中、先生は何度も私を気にかけてく
 れた。寝る時間も少しの息ぬきほど、適度
 休むのを教へてくれた。そのおかげで、
 途中で身体を壊すこともあつた。子事もな
 く、やりきることができたのだ。

私は、大学受験を通してたくさんの方の事を学
 びたい。 ~~他人の事~~ 夫の事、人への感謝、「努
 めはむくわれる事」、「すいみんは大切」、
 「死ぬまでやれば、全ては人とかたう」等、
 自身の成長にもつた。それと、トレてく
 れた、親、妹、先生、その他の人々にとも
 感謝していき。私は、自身の夢を叶えて、恩
 がえしをしていきたい。